



49期 3学年通信
第6号
R5.6.29 (金)
川口市立岸川中学校



修学旅行を終えて



6月6(火)～8日(木)に京都・奈良への修学旅行に行ってきました。1日目の奈良で少し雨に降られたものの、比較的天候に恵まれ予定通りに行程をこなすことができました。2年間の準備の末に行われた一大行事がもたらしたものの大きさは計り知れません。改めてご家庭でのご協力、本当にありがとうございました。

☆修学旅行を終えての実行委員の言葉☆

実行委員の佐藤翼です。

修学旅行を振り返って、時間を意識して行動すること、一人一人が今、何をすべきか考えて行動することなど、49期としての成長がとても多く見られました！これからも頑張りましょう！

トラブルが起きてしまった班もありましたが、それを乗り越え無事に終われた、というのはこの2年間で得た成長だと思います！残り少なくなってきた中学生活で一人一人が更なる成長をしながら、思い出をたくさん作りましょう！

今回の修学旅行で、学年、クラスの仲間一人一人が協力したおかげで、絆が深まり一生の思い出に残る修学旅行になったと思います。京都、奈良での体験をこれからの学校生活にも生かし、頑張っていきましょう！！

私は修学旅行を通して、時間に対する意識が高まり、仲間と時間を共有する大切さを学ぶことができました。ダメなところや困ったことがあれば支え合い協力することができ、学年全体が成長した3日間だと感じました



1・2組 清水寺



3組 三千院



4組 平等院





部活動は何をもたらしたのか



17日(土)から始まった学校総合体育大会。運動部の生徒にとっては中学校生活最後の大会でした。勝ち進み、県大会出場を手にした生徒もいますが多くは部活動引退を迎えました。生徒たちにとって部活動とはどのような存在だったのか、そして部活を続けたことで得たものは何だったのか。学年委員に思いを聞いてみました。

私にとって、かけがえのないものでした。この3年間、当たり前のように部活に励んできました。これまで応援してくれていた保護者の方々、一緒に頑張ってきた仲間の大切さやに気が付くことができました。

3年間、長いようで短かった。この3年間で部活の経験は人生を豊かにさせると理解した。部活に生を尽くしたほどこの期に生かせると思う。私にとっての部活は社会に飛び立つ人としての人間像に近づくための学びであると考えた。

私にとって部活動とは、最高の時間でした。部活を通して仲間との絆を深めることができ、あいさつの大切さや礼儀を学ぶことができました。大変なことがあったけれど、この部活を続けていてよかったと思います。

私にとって部活動とは自分を成長させてくれた場所だ。私はもともと難しいことやできないと思ったことはすぐ放棄してしまう性格だった。しかし部活動を通して難しいことも最後まで全力でやり切るということを学べた。

仙台育英学園高等学校野球部部長である猿橋善宏氏の著書「部活はそんなに悪者なのか!？」に次のような言葉があります。

「一生懸命に頑張ること」には、未来を手繰り寄せる力がある

この本では日本で行われている教育の中で、特に課題活動が強みであること、いくら技能や知性があったとしても人格・人間性が備わっていなければ人としての成功はないこと、やり抜く力(GRIT)を身につけるために大変だけど楽しいと感じられる体験的な活動が大切であること、苦しさと成長の楽しさをセットと捉え、目の前の苦を自ら捨てる人間となったとき、本当の意味で強い人間への成長が始まることなどが様々なエビデンスをもとに書かれています。

部活動が学校から切り離され、地域に移行する流れが強いですが、その価値の大きさは失ってから気づくのでは遅いと感じます。頂点に立たないと見えない景色があるように、やり切らないとわからないことがあります。中学校生活の中で部活に熱中した皆さんは幸せだと思いますし、最後までやり抜いた経験は「心のお守り」として今後の人生の支えとなるでしょう。本当にお疲れ様でした。



三者面談の準備をお願いします



各担任より夏休みの三者面談の案内があったかと思います。事前に必ず、お子様と進路についての話をしてください。また、当日は以下のことをお願いします。

- ①目標高校を言えるようにし、その高校の説明会の予定を把握しておく
- ②終業式に配布する、調査書の加除訂正をしたものを持参する
- ③学校外で取得した資格の証明書のコピーを持参する

有意義な面談になればと思います。お気をつけてご来校ください。